

II-3 子ども同士のトラブル…どう解決する？(3~4歳児)

ワーク1

- 最近のお子さんに見られた子ども同士のトラブルを思い出し、気楽に出し合しましょう。

ワーク2

【エピソード】

子育て広場でのこと。子育て広場にある三輪車に乗っていたユリさんが、そこに三輪車を置いたままトイレに行きました。戻ってみると、その三輪車にショウくんが乗っていました。ユリさんは「返して！」と言いましたが、ショウくんは「ボクが今使っているんだよ！」と言い返し、返してくれません。三輪車の取り合いになり、ユリさんは泣いてしまいました。それを見ていたショウくんのお母さんは、「ユリさんが乗っていたので、返しなさい！」と怒りました。近くには、ユリさんのお母さんもおられました。

- ユリさんとショウくんとショウくんのお母さんの気持ちについて話し合しましょう。
- ショウくんのお母さんだったら何と言うか話し合しましょう。
- ユリさんのお母さんだったらどうするか話し合しましょう。



資料

トラブルの経験は次の段階へのステップです

3～4歳頃になると、友達と一緒に遊びたがるようになります。物の取り合いからけんかになったり、遊びの中で互いの主張をぶつけ合ったりするようになります。しかし、こうしたトラブルの中で、子どもたちは、順番に使ったり、きまりを守ったり、また、つらい思いをしながら相手の主張を受け入れたり、自分の主張を受け入れてもらったりする経験を積み重ねていきます。こうした経験の積み重ねによって、自分を出しながら他と協調する生き方を身に付けていきます。また、その後の集団で活発に遊ぶ姿につながっていきます。

大人は、子どもたちが自分たちでトラブルを解決できるように、必要な援助をしていくことが大切です。

(厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館、2008年)

ワーク3

- 気付いたことや子ども同士のトラブル場面でこれから自分にできることを出し合いましょう。

ふりかえり

- 感想を発表し合いましょう。